

コラム12：【言葉ではわかっているが実際には？】

【大人扱いって何？】

親御さんから、20歳前後の子どもの相談を受けたときに、相談員がよく使う言葉の一つに、「大人扱いしてください」というものがあります。言葉としては馴染みがありますが、実際にはどういう対応のことをいうのでしょうか。

例えば、あなたが職場で誰かに注意する時、どのように伝えるでしょうか。

伝え方の一つに、「恐れ入りますが、こうした方がいいと思います。」のように、前置きをした後、伝える方法があるかと思います。

おそらく、一方的に「こうしなさい！」と、注意しないのではないのでしょうか。

家庭内で、子どもとずっと一緒に生活していると、つい大人になっていることを忘れてしまいがちです。子どもが社会でちゃんと振舞っていても、家ではくつろぎすぎて社会性が不足してしまい、それが原因で家族と喧嘩になることもあります。

家庭は社会のミニチュアなので、子どもの社会性が不足しているときこそ冷静に、なおかつ大人だと思って、言葉遣いに気をつけて接してみてください。

子どもは、その接し方の中で、社会人であることを思い出していきます。責めたり、脅したり、批判したりせず、冷静に話すことができれば物事が前向きに進むと思います。

何かを注意するときも「こうしなさい！」ではなく、「こうしてくれると助かるけど、どう？」と配慮して話してみましよう。